2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月16日

上 場 会 社 名	Green Earth Institute株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9212	URL	https://gei.co.jp/ja/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役CEO	(氏名) 伊原　智人	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役CFO管理部長	(氏名) 浦田　隆治	(TEL) 03-5315-0531
定時株主総会開催予定日	2026年12月23日	配当支払開始予定日	―
有価証券報告書提出予定日	2026年12月23日		

決算補足説明資料作成の有無　　：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　（　機関投資家向け　）

(百万円未満切捨て)

１．2026年９月期の業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	1,042	△3.1	△314	―	207	32.2	177	39.1
2025年９月期	1,075	7.3	△4	―	156	―	127	―

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	15.59	15.05	8.1	6.9	△30.2
2025年９月期	11.27	10.81	6.2	5.5	△0.4

(参考) 持分法投資損益　2026年９月期　―百万円　2025年９月期　―百万円

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	3,077	2,280	74.1	200.75
2025年９月期	2,967	2,106	71.0	185.46

(参考) 自己資本　2026年９月期　2,280百万円　2025年９月期　2,105百万円

（３）キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	459	△854	△113	1,550
2025年９月期	△49	△156	△9	2,059

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向	純資産配当率
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2026年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2027年９月期(予想)	―	0.00	―	0.00	0.00		―	

３．2027年９月期の業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	175	△27.1	△239	―	△239	―	△240	―	△21.21
通期	1,343	28.9	△350	―	158	△23.4	131	△25.7	11.59

※　注記事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（２）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	11,359,300 株	2025年９月期	11,355,100 株
②　期末自己株式数	2026年９月期	36 株	2025年９月期	36 株
③　期中平均株式数	2026年９月期	11,357,170 株	2025年９月期	11,297,901 株

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信（添付資料）３ページ「１．経営成績等の概況　（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……2
（１）当期の経営成績の概況 ……2
（２）当期の財政状態の概況 ……2
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 ……2
（４）今後の見通し ……3
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 ……3
３．財務諸表及び主な注記 ……4
（１）貸借対照表 ……4
（２）損益計算書 ……6
（３）株主資本等変動計算書 ……7
（４）キャッシュ・フロー計算書 ……8
（５）財務諸表に関する注記事項 ……9
（継続企業の前提に関する注記） ……9
（持分法損益等の注記） ……9
（セグメント情報等の注記） ……9
（１株当たり情報の注記） ……9
（重要な後発事象の注記） ……10

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

日本の経済においては、物価の上昇による影響があるものの、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方、米国政権における今後の政策変更への懸念、長期化するロシア・ウクライナ情勢及び中東情勢等の背景から、原材料価格やエネルギー価格の上昇等、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下であるものの、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)より受託したバイオファウンドリ事業やグリーンイノベーション基金事業、また、同機構より交付を受けているバイオものづくり革命推進事業や、国内外のパートナー企業等との大型のパイプラインを含む研究開発を進捗させております。

なお、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢については、海外企業との取引において為替相場の影響は受けるものの、当社の現在の事業展開地域に当該各国は含まれておらず、現段階において、当該情勢による直接的な事業影響はございません。

以上の結果、当事業年度は売上高1,042,445千円(前年同期比3.1%減)、営業損失314,887千円(前期営業損失4,202千円)、経常利益207,560千円(前年同期比32.2%増)となりました。当期純利益については、177,108千円(前年同期比39.1%増)となりました。また、経営指標としている売上高＋営業外収入（バイオものづくり事業にかかるものに限る）は1,576,155千円（前年同期比27.8%増）となり、９期連続の増加となりました。

なお、当社はバイオものづくり事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

注１．バイオファウンドリ事業は、日本における大学や企業等が保有する、バイオものづくり技術の商用化のための生産プロセスの開発、実証等を実施するプラットフォーム(バイオファウンドリ拠点)を構築、運用する事業(採択時において６年間、事業総額54億円(税込))であります。

２．グリーンイノベーション基金事業は、日本のカーボンニュートラル実現に向けて創設された基金(総額2.7兆円、そのうちバイオプロジェクト1,800億円)であり、研究開発・実証から社会実装までを見据え、企業等の取組みに対して10年間の継続的な支援を行う事業であります。

３．バイオものづくり革命推進事業は、未利用資源の収集・原料化、微生物等の改変技術、生産・分離・精製・加工技術、社会実装に必要な制度や標準化等のバイオものづくりのバリューチェーン構築に必要となる技術開発及び実証の一貫した支援(総額3,000億円)を行う事業(第１回：採択時において８年間、事業総額約24億円、補助金総額約14億円、第２回：採択時において６年間、事業総額約5.5億円、補助金総額約3.0億円)であります。

（２）当期の財政状態の概況

①　資産

当事業年度末における流動資産は1,985,803千円となり、前事業年度末に比べ751,000千円減少いたしました。これは主に未収消費税等が4,217千円増加した一方、事業上の設備投資等により現金及び預金が508,695千円、売掛金が181,230千円、バイオファウンドリ事業における設備投資のうちNEDOの所有分による立替金が59,437千円減少したことによるものであります。固定資産は1,092,066千円となり、前事業年度末に比べ861,378千円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が626,356千円、出資金が86,861千円、機械及び装置が69,825千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は3,077,870千円となり、前事業年度末に比べ110,377千円増加いたしました。

②　負債

当事業年度末における流動負債は739,051千円となり、前事業年度末に比べ80,272千円減少いたしました。これは主に未払金が62,175千円増加した一方、１年内返済予定の長期借入金が100,000千円、バイオファウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金による仮受金が26,604千円減少したことによるものであります。固定負債は58,210千円となり、前事業年度末に比べ16,160千円増加いたしました。これは主に長期未払金が24,774千円増加した一方、１年内返済予定の長期借入金への振替により長期借入金が8,040千円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は797,262千円となり、前事業年度末に比べ64,112千円減少いたしました。

③　純資産

当事業年度末における純資産合計は2,280,607千円となり、前事業年度末に比べ174,489千円増加いたしました。これは主に新株予約権行使により資本金が126千円、資本準備金が126千円、利益剰余金が177,108千円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は74.1%(前事業年度末は71.0%)となりました。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、本項目において「資金」という。)については、前事業年度末より508,695千円減少し、1,550,845千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は459,632千円(前事業年度においては49,391千円の支出)となりました。これは主に税引前当期純利益204,824千円、売掛金の回収に伴う売上債権の減少額181,230千円、減価償却費60,733千円、立替金の減少額59,437千円の増加要因があったものの、主に法人税等支払額36,500千円、バイオファウンドリ事業における設備投資等費用の概算払いによる仮受金の減少額26,604千円の減少要因によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、支出した資金は854,868千円(前事業年度においては156,002千円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出758,399千円、出資金の払込による支出86,861千円の減少要因によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、支出した資金は113,410千円(前事業年度においては9,314千円の支出)となりました。これは主に新株予約権行使による株式の発行による収入252千円の増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出108,040千円、及びリース債務の返済による支出5,622千円の減少要因によるものであります。

(４) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善等を背景とした景気の緩やかな回復が期待される一方、国際情勢の不安定化、原材料価格及びエネルギー価格の上昇、為替相場の変動等のリスクが引き続き存在しており、先行きは依然として不透明な状況が続くものと想定しております。

一方で、日本においては、2024年６月に内閣府が策定した「バイオエコノミー戦略」において、バイオエコノミーの世界全体の市場規模は2030年時点で約100兆円、うちバイオものづくり・バイオ由来製品の領域は53.3兆円と見込まれております。さらに、2026年7月21日に閣議決定された「日本の成長戦略」において、「バイオものづくり」は我が国の産業競争力の強化及び経済安全保障に資する中核領域の一つとして位置付けられ、同日に日本成長戦略本部で決定された「戦略17分野における「主要な製品・技術等」の官民投資ロードマップ」では、2040年における我が国企業の売上目標が11.9兆円（グローバルシェア10%）とされております。

また、地政学リスクの高まりや産業界の脱炭素投資、政策・規制による後押しを背景に、石油依存からの転換が求められております。とりわけバイオ燃料の分野では、国際的なSAFの義務化の流れに加え、日本でも、エネルギー基本計画において、バイオエタノールを10%混合するE10導入の方針が示されています。さらに、東南アジアは原油輸入依存度が約70%と高い一方、パーム残渣等の非可食バイオマス資源が豊富であることから、同地域におけるバイオ燃料の需要と供給の両面で大きな事業機会があるものと認識しております。

2027年９月期におきましては、NEDOより受託したバイオファウンドリ事業及びNEDOより補助金の交付を受けているバイオものづくり革命推進事業(第１回及び第２回)等の国策案件を着実に遂行してまいります。バイオファウンドリ事業については、2027年3月で終了し、その後GEIの民間企業向けのバイオファウンドリサービス事業として、事業拡大を目指します。同時に、国内外のパートナー企業との民間案件につきましても、テクノロジーパッケージ、及び研究開発や生産実証等のバイオファウンドリサービス、ライセンス等のプロジェクトの獲得に取り組んでまいります。

このような見通しのもと、来期は売上高1,343,677千円、営業損失350,112千円、経常利益158,968千円、当期純利益131,662千円を達成したいと考えております。

注１．バイオものづくり革命推進事業(第１回)は、「製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産」に向け、未利用資源 パルプ・古紙パルプ・ペーパースラッジを用いて糖化・発酵法にてエタノール・樹脂原料・アミノ酸の研究開発、実証から社会実装までを支援する事業であります。

２．バイオものづくり革命推進事業(第２回)は、「純国産木材バイオものづくりによる世界最高クラスの低炭素バイオエタノール生産プロセスの開発」を通して国産材を活用した、純国産セルロース系バイオエタノール商業プラントを実現するための研究開発、実証から社会実装までを支援する事業であります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内同業他社との比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、対応していく方針であります。

３．財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年９月30日)	当事業年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,059,541	1,550,845
売掛金	398,235	217,005
仕掛品	205,250	197,335
貯蔵品	1,814	2,876
前渡金	2,220	2,210
前払費用	9,485	10,288
立替金	60,243	805
未収消費税等	―	4,217
その他	14	219
流動資産合計	2,736,804	1,985,803
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,275	6,093
建物附属設備（純額）	1,378	9,567
機械及び装置（純額）	161,760	231,586
工具、器具及び備品（純額）	21,269	60,618
リース資産（純額）	7,787	2,362
建設仮勘定	24,609	650,965
有形固定資産合計	223,081	961,193
無形固定資産		
ソフトウエア	2,606	39,011
無形固定資産合計	2,606	39,011
投資その他の資産		
出資金	5,000	91,861
投資その他の資産合計	5,000	91,861
固定資産合計	230,687	1,092,066
資産合計	2,967,492	3,077,870

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年９月30日)	当事業年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
１年内返済予定の長期借入金	108,040	8,040
リース債務	5,622	614
未払金	150,933	213,108
未払法人税等	36,750	26,772
未払消費税等	3,364	―
仮受金	508,694	482,090
その他	5,919	8,426
流動負債合計	819,324	739,051
固定負債		
長期借入金	30,700	22,660
リース債務	2,410	1,796
長期未払金	―	24,774
繰延税金負債	1,976	1,920
資産除去債務	6,963	7,059
固定負債合計	42,050	58,210
負債合計	861,375	797,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,602,365	1,602,491
資本剰余金		
資本準備金	1,592,365	1,592,491
資本剰余金合計	1,592,365	1,592,491
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,088,765	△911,656
利益剰余金合計	△1,088,765	△911,656
自己株式	△28	△28
株主資本合計	2,105,937	2,283,298
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	―	△2,870
評価・換算差額等合計	―	△2,870
新株予約権	180	180
純資産合計	2,106,117	2,280,607
負債純資産合計	2,967,492	3,077,870

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,075,413	1,042,445
売上原価	432,929	604,188
売上総利益	642,483	438,256
販売費及び一般管理費	646,686	753,144
営業損失（△）	△4,202	△314,887
営業外収益		
受取利息	2,978	5,094
為替差益	434	―
補助金収入	158,043	533,710
講演料等収入	1,168	406
その他	36	550
営業外収益合計	162,660	539,760
営業外費用		
支払利息	1,435	885
為替差損	―	6,426
株式交付費	31	―
市場変更費用	―	10,000
営業外費用合計	1,466	17,312
経常利益	156,990	207,560
特別損失		
固定資産除却損	0	2,735
固定資産売却損	12	―
特別損失合計	12	2,735
税引前当期純利益	156,978	204,824
法人税、住民税及び事業税	29,654	27,771
法人税等調整額	△0	△55
法人税等合計	29,654	27,715
当期純利益	127,324	177,108

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本							評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	繰延ヘッジ損益		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当期首残高	1,600,529	1,590,529	1,590,529	△1,216,089	△1,216,089	△28	1,974,941	―	180	1,975,121
当期変動額										
新株の発行	1,836	1,836	1,836				3,672			3,672
当期純利益				127,324	127,324		127,324			127,324
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										
当期変動額合計	1,836	1,836	1,836	127,324	127,324	―	130,996	―	―	130,996
当期末残高	1,602,365	1,592,365	1,592,365	△1,088,765	△1,088,765	△28	2,105,937	―	180	2,106,117

当事業年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本							評価・換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	繰延ヘッジ損益		
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当期首残高	1,602,365	1,592,365	1,592,365	△1,088,765	△1,088,765	△28	2,105,937	―	180	2,106,117
当期変動額										
新株の発行	126	126	126				252			252
当期純利益				177,108	177,108		177,108			177,108
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								△2,870		△2,870
当期変動額合計	126	126	126	177,108	177,108	―	177,360	△2,870	―	174,489
当期末残高	1,602,491	1,592,491	1,592,491	△911,656	△911,656	△28	2,283,298	△2,870	180	2,280,607

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	156,978	204,824
減価償却費	32,316	60,733
固定資産除却損	0	2,735
固定資産売却損	12	―
受取利息及び受取配当金	△2,978	△5,094
補助金収入	△158,043	△533,710
支払利息	1,435	885
株式交付費	31	―
売上債権の増減額（△は増加）	△202,723	181,230
棚卸資産の増減額（△は増加）	△57,642	6,853
立替金の増減額（△は増加）	△52,387	59,437
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△2,698	△998
未払金の増減額（△は減少）	37,546	16,970
未払又は未収消費税等の増減額	△10,358	△7,582
仮受金の増減額（△は減少）	51,975	△26,604
その他の流動負債の増減額（△は減少）	5,579	△1,612
その他	94	145
小計	△200,861	△41,785
利息及び配当金の受取額	2,978	5,094
補助金の受取額	158,043	533,710
利息の支払額	△1,435	△885
法人税等の支払額	△8,115	△36,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	△49,391	459,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△148,672	△758,399
無形固定資産の取得による支出	△2,318	△8,424
出資金の払込による支出	△5,000	△86,861
その他	△12	△1,182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,002	△854,868
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△7,940	△108,040
リース債務の返済による支出	△5,014	△5,622
株式の発行による収入	3,672	252
その他	△31	―
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,314	△113,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	―	△49
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△214,708	△508,695
現金及び現金同等物の期首残高	2,274,249	2,059,541
現金及び現金同等物の期末残高	2,059,541	1,550,845

（５）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等の注記）

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

前事業年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

当社はバイオものづくり事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

当社はバイオものづくり事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（１株当たり情報の注記）

	前事業年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当事業年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
１株当たり純資産額	185.46円	200.75円
１株当たり当期純利益	11.27円	15.59円
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	10.81円	15.05円

注１．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前事業年度 (2025年９月30日)	当事業年度 (2026年９月30日)
純資産の部の合計額(千円)	2,106,117	2,280,607
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	180	180
（うち新株予約権(千円)）	(180)	(180)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,105,937	2,280,427
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	11,355,064	11,359,264

２．１株当たり当期純利益及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前事業年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当事業年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
１株当たり当期純利益		
当期純利益	127,324	177,108
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る当期純利益	127,324	177,108
普通株式の期中平均株式数(株)	11,297,901	11,357,170

潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	―	―
普通株式増加数（株）	477,687	411,367
（うち、新株予約権（株））	(477,687)	(411,367)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	―	―

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。